



2017年4月18日

「HOT LIST JAPAN 2017」受賞クラブが決定！

ゴルフダイジェスト・オンラインが主催するゴルフギアのレーティング企画「HOT LIST JAPAN 2017」でPINGのクラブが昨年に引き続き高い評価を受け、ゴールド賞3個&シルバー賞3個を獲得しました！審査員として4名の有識者からの選考コメントも併せてご紹介します。



〈ゴールド受賞〉 i200 アイアン



柔らかな打感で
操作性抜群

“ピンらしい”顔立ち！ 抜けのよいソール形状

金谷多一郎氏
コメント

トウ側の緩やかな曲線が安心感をもたらしてくれる“ピンらしい顔”といった見た目。ソール形状がもたらす抜けの良さで、ライをあまり選ぶことなく、プレーヤーにやさしさと安心感を与えてくれる。ピン独自の「カスタムフィッティング」により、カラー別に色んなライ角を選べるのも魅力。

セミオート感覚で操れる 実践で結果を残せるモデル

鹿又芳典氏
コメント

球のつかまり、コントロール性能、オフセンターヒット時の球の強さ、どれをとってもそつがなくバランスがとても良い。セミオート感覚で操れるので、単なるデータ上だけではなく、実戦で結果を残せるモデルだろう。中上級者でも満足感を得られる高性能なアイアンだと思った。

幅広い層にマッチする 多種多様な純正シャフト

マーク金井氏
コメント

純正シャフトのセレクトが、「NS プロ 950GH」から「モダス 120」「モダス 105」「ダイナミックゴールド S200」まで、4種類から選べるので幅広い層のゴルファーにマッチする。ややロフト角が寝ているせいか、飛距離が出にくい。ピンはセット売りでなくクラブを1本ずつ買えるので、気に入った番手だけ先に購入し、あとで集めるのも手かも。

大事な場面でも距離感と 方向性の精度を発揮できる！

関雅史氏
コメント

許容度が高く、上下左右に芯を外したときの打点のズレに対応してくれる。見た目からして安心感を持って挑めるので、大事な場面でもその距離と方向性の精度を発揮してくれる。ただ、ロフト角が寝ているせいかスピン量が多く出てしまい、思ったよりボールが前に行かない…。ダウンブローに打てない人は飛距離に苦しみかねない。



〈ゴールド受賞〉 GLIDE 2.0 ウェッジ



4種のソールに
安定したスピン性能

“おたま”のように 何でも拾えるウェッジ

金谷多一郎氏
コメント

「グライド 2.0」シリーズの中で一番ベーシックなソール形状で、安心感が湧くモデル。実際、どんなライからでもボールを拾えるやさしさを感じた。例えるなら、キッチン道具の“おたま”のよう。特にバンカーでは、花道から打つような感覚で、いつも通り振るだけで脱出させてくれる。とにかくボールを拾う能力に長けたウェッジだ。

短い距離で威力を発揮 ショートゲームに強い！

鹿又芳典氏
コメント

プロユースのモデルは基本的にイメージ通りに使えるのだが、この「グライド 2.0 ウェッジSS」はグリーン周りでもボールを拾えることができる。バランスの取れたウェッジの中でも、特にショートゲームのスピン性能が高い。スピンのかけやすさ、スピンコントロールのしやすさなど、短い距離で威力を発揮してくれる特化モデルと感じた。

これぞウェッジの定番！ ライ角調整もできるお得感も

マーク金井氏
コメント

グリーン周り、バンカー、どちらもソールをしっかり使える印象。「これぞウェッジの定番！」と言わねばなりに、必要な能力はすべておさえてあるモデル。ロフト角が大きい（フェースが寝ている）番手ほどライ角の影響を受けるのだが、そのライ角調整が無料でできるのもピンならではの、他メーカーよりお得！

シリーズ4機種のうち 一番扱いやすいモデル！

関雅史氏
コメント

ツアープロが認めるスピン性能を、4種類のソール形状から選べるというコンセプトは魅力的。その中のSS（スタンダード・ソール）は、アベレージゴルファーでも恩恵を受けられる扱いやすいモデル。インパクト時にもう少しバウンスが効いてくれると、ミスの許容度が上がり、さらに一般ゴルファー向けにマッチするかなといった印象だ。



〈ゴールド受賞〉 PING VAULT BERGEN (ベルゲン)



長いアライメントと
高い直進性能

プラチナム
仕上げ

スレート
仕上げ

クラウンの1本ラインが◎ アライメントが取りやすい！

金谷多一郎氏
コメント

大型マレットのメリットをシンプルに具現化したパターンで、非常に構えやすいのが特徴。クラウンに刻まれた一本線が、ターゲットにフェースを真っすぐ向けやすく、アライメントが取りやすい。構えた感じの通り、ボールの転がりも直進性に長けている印象。5機種ある同シリーズの中では最も直進性を感じさせてくれるモデルだった。

直進的にイメージさせる センターラインの構造が◎

鹿又芳典氏
コメント

ターゲットに対して真っすぐイメージを出しやすい。同シリーズ「オスロ」も同様の大型マレットではあるが、「ベルゲン」はクラウンのセンターラインがフェース上部まで入っているので、よりストレートにイメージさせることができる。重心がセンター寄りで慣性モーメントも大きく、非常に振りやすいのも◎。打感も申し分なし！

数ある大型マレットの中でも フォローの出しやすさは秀逸

マーク金井氏
コメント

重心位置が深めのモデルで、非常にストロークしやすいモデル。慣性モーメントの大きさが、ストロークをスムーズに行わせてくれる。数ある大型マレットの中でも、フォローの出しやすさは秀逸！ターゲットに対して真っすぐ構えやすく、真っすぐフォローを取りやすい。プレーヤーの期待以上の直進性を体感できるパターン。

見た目から受ける抜群の性能 “安心感”はピカイチ！

関雅史氏
コメント

座りの良さ、アライメントの取りやすさ、アドレス時のすべてにおいて“安心感”がピカイチ！ターゲットに対するイメージの出し方、セットアップしたときのほどよい重さと、フェース向きの合わせやすさ。見た目から受ける性能の高さはシリーズ NO.1。ただ、打ってみると音がやや曇っていて響かない感じ。かなり打たないとダメかなと思ってしまう。



NEWS RELEASE



ゴルフダイジェスト・オンラインが主催するゴルフギアのレーティング企画「HOT LIST JAPAN 2017」で PING のクラブが昨年に引き続き高い評価を受け、ゴールド賞3個&シルバー賞3個を獲得しました！ 審査員として4名の有識者からの選考コメントも併せてご紹介します。



HOT LIST JAPAN 2017

〈シルバー受賞〉
iBLADE アイアン

**最先端
ブレード型アイアン**

シャープな見た目に、ピンらしいやさしさが搭載！ **金谷多一郎氏 コメント**

シャープな顔つきで、見た目からして鋭い当たりをイメージさせてくれる。プロも唸らせる打感を謳っており、軽く振っても飛んでくれるやさしさも含めて、ピンならではの気持ちいい感覚がある。ソールにフラット感があるので、多くの情報をそこから得ることができる。逆にライ角調整はしっかりとやるべき。

気持ちよく振れるヘッドで狙った球筋でピンを攻める **マーク金井氏 コメント**

すくシンプルで形状のブレードアイアン。クセがなく、スッキリ見えて構えやすい。気持ちよく振って、思い通りの球筋を描くことができるのは、ヘッドの形状や素材だけではなく構造の妙。トゥ側にタングステンを入れたり、キャビティ部分の面積を広げたり、ミスに強くなる要素を巧みに散りばめてある。

やさしさを感じさせるマッスルバックの進化系 **鹿又芳典氏 コメント**

構えやすくソールの抜け方もいいので、球のコントロールがとてもしやすい。やさしさを感じさせるマッスルバックの進化系アイアンといえる。硬い地面でも跳ねずにしっかりと芝をつかんでくれるので、上級者にとっては間違いなく使いやすいクラブとなる。ただ、ロフト角が寝ているため、最近の飛び系アイアンと比べると本当に飛ばない。

見た目の美しさ◎強い球が高く出る！ **関雅史氏 コメント**

キャディバックに入れたいくなる、見た目の美しいクラブ。打感も気持ちよく、心地いい弾き感がある。強い球が高く出るので、アゲンストの風にも負けず、前へと飛ぶ。ブレードタイプでありながらスイートエリアは広めで、ミスヒット時にも心地よい打感が残ってくれる。



HOT LIST JAPAN 2017

〈シルバー受賞〉
PING VAULT ANSER 2

削り出しの打感 PING 代表モデル

スレート仕上げ
プラチナム仕上げ

「TR溝」搭載の効果で転がりが良く寛容性アップ **金谷多一郎氏 コメント**

打点がズレても芯をとらえたときと同じ転がりが得られる独自の「TR溝」が、しっかり効いている印象。転がりが良く、ミスヒットに強い。ボールが安定するので、信頼してストロークができる。シンプルなピン型構造なので、メーカーのフェース面や重心などへのこだわりが、そのままボールの転がりとして表現されやすくGOOD！

巧みな「TR溝」のおかげで距離感のミスが減る！ **マーク金井氏 コメント**

ピン独自のフェースに搭載された「TR溝」の効果がいい。特に距離感のミスが減り、ロングパットでのタッチに自信が持てる。スイートエリアの中心である、フェースど真ん中はあえて転がらない感じで、逆にその端の部分はしっかり転がるように調節されている感がある。距離感に悩んでいる人にはおすすめ。

パターといえばこの形状！王道中の王道“ピン型” **鹿又芳典氏 コメント**

いまやパターの形状として“ピン型”と呼ばれるのがあたり前となっているが、その形状を確立してきたピン社でしか作れない“ピン型”の王道中の王道モデル。もはやピン型を作り続けている理由が、このモデルの受賞理由となり得るほど。なぜこの形状でなければいけないのか？原点をしっかり踏まえたモデル。

細部までこだわり抜いたもはや“完成形”パター **関雅史氏 コメント**

ピンの伝統的フォルムで、もはや“完成形”といっても過言ではないピン型モデル。心地のよい絶妙な打感と、感性を研ぎ澄ませることができる澄んだ打音。細部にまでこだわった技術が搭載されており、プレーヤーの要望を細かくとらえて実現してくれる印象。特に距離感が出しやすく、ロングパットを楽にしてくれる。



HOT LIST JAPAN 2017

〈シルバー受賞〉
SIGMA G TYNE (タイン)

柔らかい打感でしっかり転がる

テークバックの始動がスムーズに行える“ツノ型” **金谷多一郎氏 コメント**

見た目に安定感を感じさせてくれる、座りのよいツノ型マレット。全16モデルある「シグマG」シリーズの中で最も構えやすかった。大型マレットによくある真っすぐ引いて真っすぐ出すイメージではなく、ある程度の操作性もあるのでテークバックの始動がしやすい。ほどよく自分の感覚を入れ込めるので、ストロークのタイミングも取りやすい。

横幅の短いフェースの長さかほどよい操作性を実現！ **マーク金井氏 コメント**

典型的なオートマチック性能のツノ型マレットのヘッドであるのに、フェースの横幅が短くしてあることで、操作性も感じる事ができるモデル。ある意味、両面を併せ持った“中間型”のパター。プロも使用している話題のツノ型モデルを使いたいけど、自分の感性も生かしたいという人におすすめ。

フェース後部の形状美！イメージ通りに打っていく **鹿又芳典氏 コメント**

フェース後部にあるラウンドの角度が絶妙！その適度な曲がり方のおかげで、いつものストロークでヘッドを運びやすくしてある印象。座りが良く構えやすいし、直進性とボールの転がりもいい。イメージした通りに打っていくので、ラインに乗せやすい。初級者から上級者まで、すぐに使える実戦的パター。

アドレスしやすい形状 感性に訴えかけてくるモデル **関雅史氏 コメント**

ツノ型タイプのモデルの中で、個人的に（普段は違う形状のパターを使っている身としては）唯一違和感なくアドレスできたモデル。考えられる理由は、フェース後方に設けられた滑らかな傾斜がターゲットに対しての構えやすさを演出しているから。オートマチックな性能のパターを多く作っているピンでは珍しく、感性に訴えかけてくるモデル。

HOT LIST JAPAN 2017 とは？

2016年4月から2017年5月に日本で発売された最新のゴルフクラブが対象となり、プロとアマチュア計17名で構成された試打テスターが、規定の条件や審査方法にそって試打テストを行い、総合評価点によってドライバー、フェアウェイウッド、ユーティリティ、アイアン、ウェッジ、パターの各部門に「ゴールド賞」「シルバー賞」が授与されます。